

アスパラガスにおける省力的親茎管理方法

筑後分場

1 背景、目的

アスパラガスでは、規模拡大する生産者が増加している一方で、高齢化が進んでおり、栽培管理の省力化が求められています。慣行栽培では、親茎はL級を10本程度立茎し、過繁茂を防止するために6月から8月まで2次側枝を除去する親茎の側枝管理が行われていますが、高温の中での煩雑な作業であり、作業者に大きな負担になっています。

そこで、2次側枝を除去しなくても収量、品質が維持できる省力的親茎管理方法を確立しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 省力的親茎管理方法は、畝1m当たりL級（茎径11mm～13mm）を8本立茎し、高さ60cm以上の2次側枝を除去することなく通路中央部まで張り出した側枝だけを6月はネット等で抑え、7月～8月は2週間毎に切除します（表1）。
- 2) この方法による側枝整理の作業時間は10a当たり30時間程度で、2次側枝を6月から8月まで2週間毎に除去する慣行に比べて作業時間が80%程度削減されます（表2）。
- 3) 省力的親茎管理方法の商品重および品質は慣行と同等です（図1、一部データ略）。

3 主要なデータ・画像など

表1 省力的親茎管理方法



項目	時期	管理方法	
立茎	3月下 ～ 4月上	親茎としてL級（茎径 11～13mm）を畝 1 m当たり（畝幅 1.5m）8 本立茎する。	<p>通路側枝整理前</p> 
	5月下 ～ 6月上	立茎開始後 60 日頃、高さ 120cm で摘心し、60cm 以下の下枝を除去。その後、発生する下枝は収穫時に除去。	
通路側枝整理	6月 ～ 8月	親茎の高さ 60cm 以上の 2 次側枝を放任とし、通路中央部まで張り出した側枝を 6 月は倒伏防止ネットと紐（高さ 60、100、120cm）で抑え、7 月～8 月は畝肩の位置で 2 週間毎に切除する。	<p>通路側枝整理後</p> 

表2 側枝整理作業時間

(時間/10a)

試験区	6月	7月	8月	合計	
省力的親茎管理	12.4	9.0	7.6	29.0	(18)
慣行	73.7	50.1	38.0	161.8	(100)

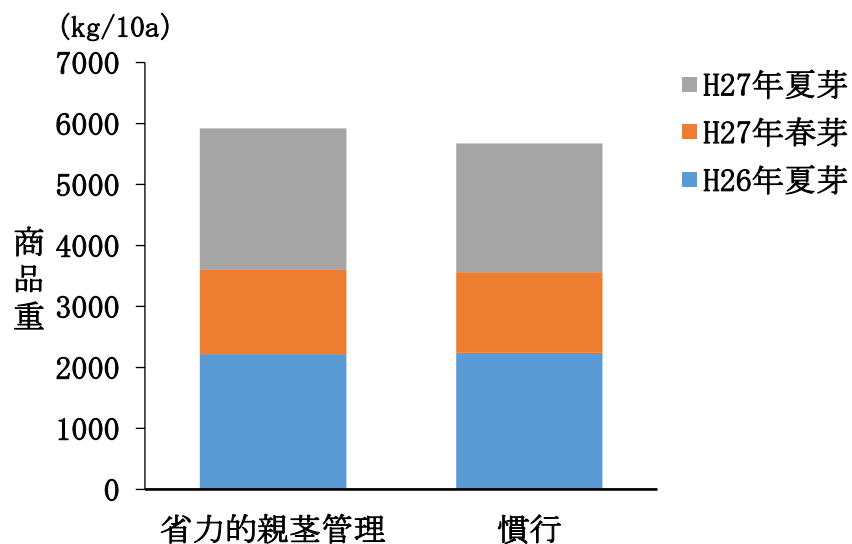


図1 省力的親茎管理方法の商品重

- 注) 1. 春芽（2月～4月）、夏芽（5月～10月）。
2. 供試品種はウエルカム 3～4年生。